

令和 8 年度第 1 回戸田市都市再生協議会

令和8年度 戸田市ウォークブル推進事業北戸田駅周辺
社会実験企画書(案)等について

令和 8 年 8 月 1 7 日

戸田市 都市整備部 都市計画課

キタトラ みんなの文化祭

令和8年度 戸田市ウォーカブル推進事業
北戸田駅周辺社会実験

企画書(案)

社会実験の目的

■北戸田駅周辺まちなかウォーカブル将来ビジョンの「駅前・交流広場」の将来像の実現に向けた取組

北戸田駅西口駅前交流広場の活用方法の検討・利用の拡大

①空間のポテンシャル ②市民のニーズ ③今後の最適な広場の活用方法の検討 ④歩行者利便増進道路（ほこみち）の検討

▼北戸田駅周辺まちなかウォーカブル将来ビジョンの「駅前・交流広場」の将来像 より

駅前・交流広場

～飲食やイベント等の多様なコンテンツを通じた交流が生まれ、
多くの人が集まり、明るく賑わいのある駅前空間～

活動の重点方針

- 北戸田のまちの顔に相応しい明るく賑わいのある地域の拠点

基盤整備の方針

- 滞在性や利便性に優れた“人中心”の駅前・交流広場
- 多様な人を受け入れ、交流を生む空間づくり

具体的な取組の例

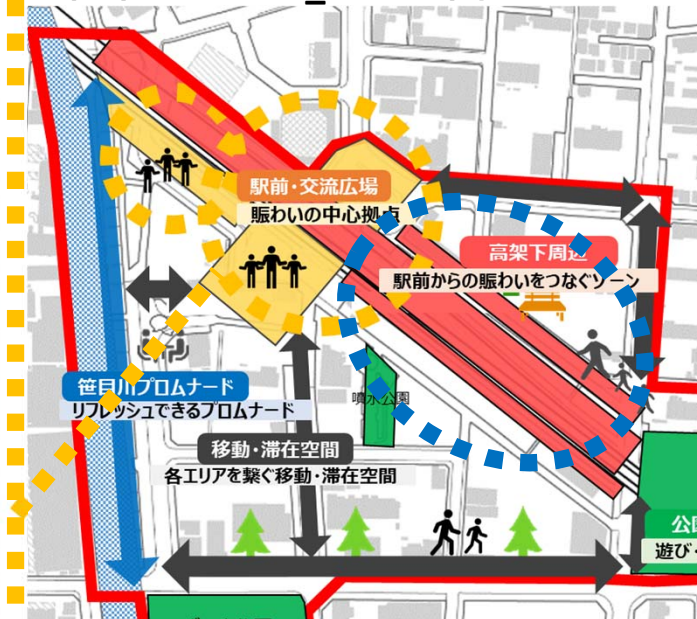
- ✓ マルシェやキッチンカー等の飲食や小売系の取組み
- ✓ 出かける・集まる動機となるイベント等の実施
- ✓ 緑化やライトアップなど明るく親しみやすい景観形成
- ✓ 公有地・民地等の有効活用（チャレンジ広場など）
- ✓ 北戸田駅西口駅前交通広場及び交流広場の整備



※ほこみちの効果

ほこみちに指定されると、道路空間の活用に必要な道路占用許可が柔軟に認められるようになる。道路の維持管理の協力も行う場合、占用料が減額される。

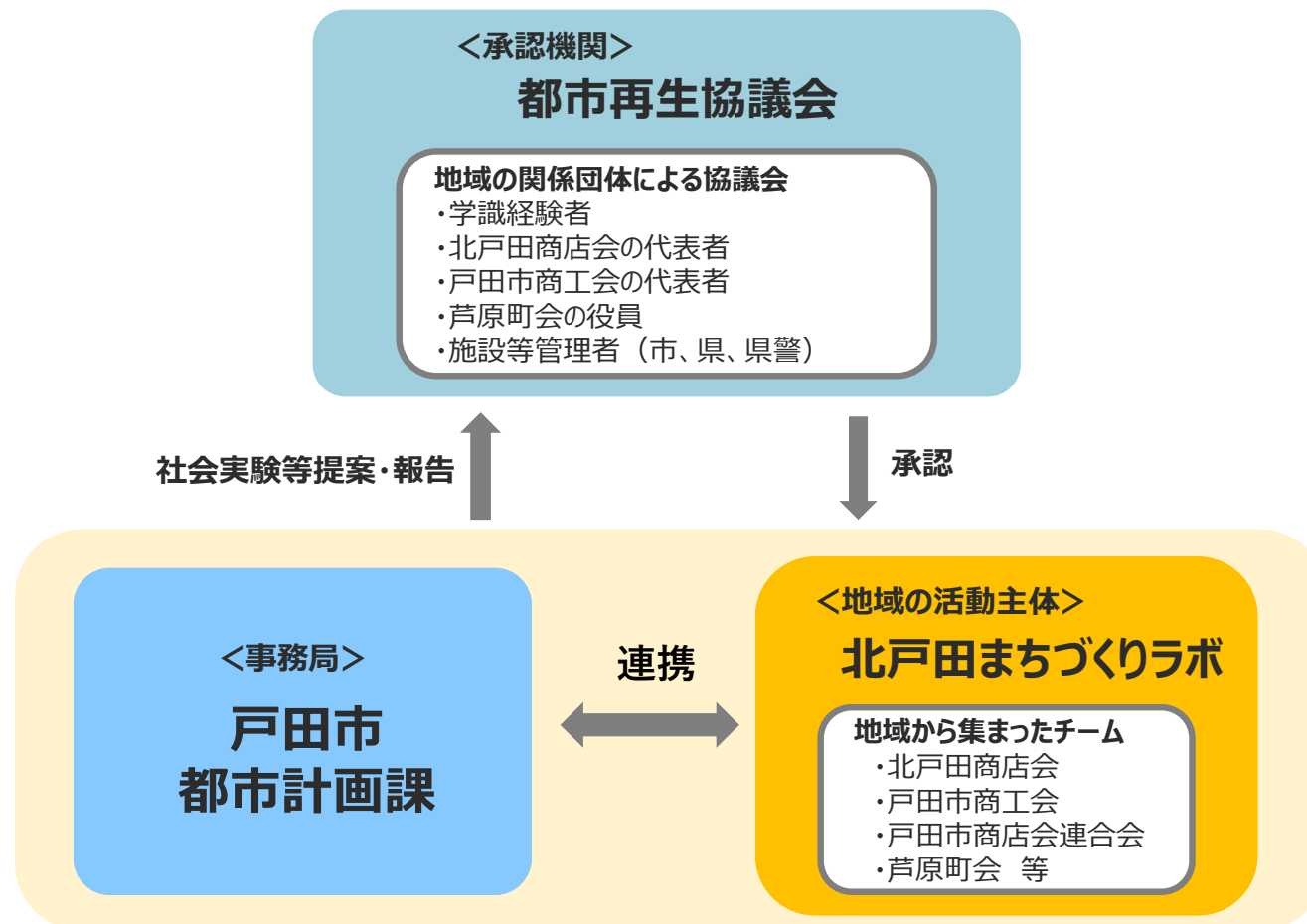
▼将来ビジョン_エリア図



戸田市ウォーカブル事業の推進体制

- 戸田市のウォーカブル事業は、官民連携による地域の「まちづくりラボ」や「都市再生協議会」と、市が連携し、ソフトとハードの両面での駅周辺の賑わいづくりを創出する。

《ウォーカブル事業の推進体制》



令和8年度 北戸田駅周辺ウォークアブル社会実験 企画書（案）

社会実験の概要（案）

タイトル	キタトダみんなの文化祭
1.目的	北戸田駅西口駅前交流広場の活用方法の検討・利用の拡大 ①空間のポテンシャル ②市民のニーズ ③今後の最適な広場の活用方法の検討 ④歩行者利便増進道路（ほこみち）の検討
2.テーマ	交流広場の活用
3.場所	北戸田駅西口駅前交流広場
4.日付	令和8年11月21日（土） 10：00～15：00 ※予備日 令和8年11月22日（日）
5.内容・時間	■ 高校の部活動によるステージ発表 10：15～14：45（各団体30分ずつ） ■ 出張モービー 10：00～15：00 ■ キッチンカーの出店/ワークショップ 10：00～15：00
6.広報	・周辺の学校・店舗・公共施設等へのチラシ配布、ポスター掲示 ・市SNS、広報誌への掲載

令和8年度 北戸田駅周辺ウォークブル社会実験 企画書（案）

● ...照明灯（コンセント付）15A×8口

イベント配置図（仮）

■学校部活動の発表

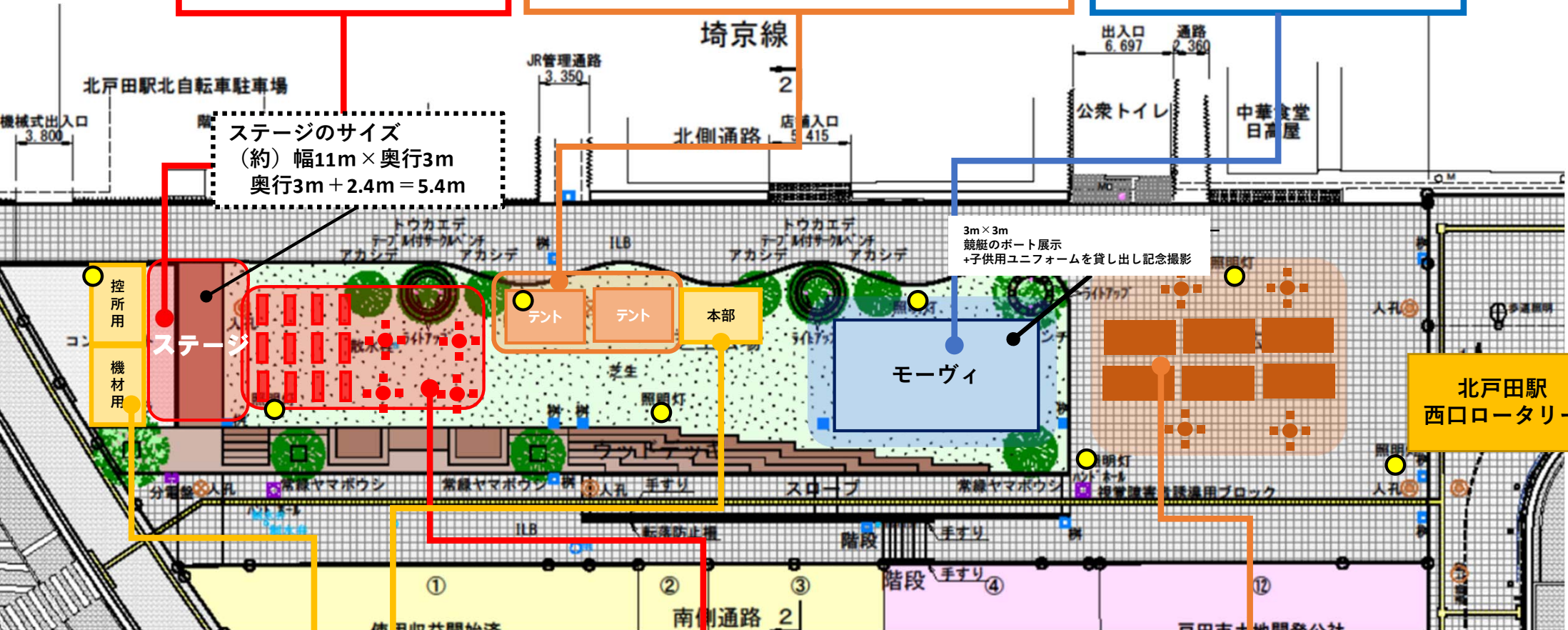
- ・南稜高校・浦和南高校
各3～4の部活動の発表
- ・1団体につき30分

■出展ブース（ワークショップ等）

- ・芦原小学校おやじの会：1張
- ・向田町会子ども会・戸田市美女木小学校PTA：1張
- ・福祉保健センター
- ・株式会社ジェイアール東日本都市開発

■出張モーヴィ

- ・玩具メーカー（ボーネルンド）
によるあそび場の提供
- ・ボートを展示し記念撮影が可能
- ・対象年齢12歳まで
- ・8m×15m程度



■テント

- ・本部用（2間×3間）×1
- ・控所用（2間×3間）×1
- ・機材用（2間×3間）×1

■ステージ観覧席

- ・ベンチ（W1800 4人掛け程度）×12
- ・ベンチの後ろにファニチャーを設置

■キッチンカーの出店

- ・机×1、イス×4 4セット

イベントのイメージ図

“キタトダみんなの文化祭”



令和8年度 北戸田駅周辺ウォーカブル社会実験 企画書（案）

タイムスケジュール（仮）

日	時間	①ステージ		②出張モーヴィ (戸田ボートレース企業団)	③キッチンカー/ワークショップ
		浦和南高校	南稜高校		
11/20 (金)	12:00	事務局が開催/中止を判断（荒天時等）、中止時は関係各所に連絡			
11/21 (土)	9 : 30～10 : 00	準備		受付開始	出展・出店準備
	10 : 00～10 : 30	開会・市長挨拶（広場のオープニングセレモニー）		実施	実施
	10 : 30～11 : 00	吹奏楽			・芦原小学校おやじの会 （輪投げ・ヨーヨー等）
	11 : 00～11 : 30	バトン			・向田町会子ども会 （スティックバルーン等の工作）
	11 : 30～12 : 00	音楽			・戸田市美女木小学校PTA （ハギレを使用したワークショップ）
	12 : 00～12 : 30	書道			・福祉保健センター （チラシ配布・アプリ登録推進）
	12 : 30～13 : 15	時間調整用			・株式会社ジェイアール東日本都市開発 （アンケートの実施）
	13 : 15～13 : 45		書道		
	13 : 45～14 : 15		合唱		
	14 : 15～14 : 45		吹奏楽		
	14 : 45～15 : 00	閉会			
	15 : 00～	片付け			

- ・ステージは1団体につき持ち時間30分（入れ替えの時間を含む）
（例）：準備5分+発表20分+撤収5分 計30分
- ・2校の発表順、部活の発表順は変更の可能性があります。

令和8年度 北戸田駅周辺ウォーカブル社会実験 企画書（案）

効果検証（催事来場者集計）

1 時間に 1 回、運営者側で来場者集計を行う。

各時間帯における計測人数の合計値を「総来場者数（延べ人数）」と定義する。

効果検証（経費検証）

	内容	数量	単位	単価	金額（円）
支出	①会場設営費（テント等のレンタル）	-	-	-	-
	②音響設備	-	-	-	-
	③イベント保険料	-	-	-	-
	④司会者	-	-	-	-
	⑤スタッフ（現場管理・設営・撤去）	-	-	-	-
	⑥誘導員	-	-	-	-
	⑦備品購入費（部活動によるパフォーマンス用品等）	-	-	-	-
市で用意	⑧チラシ・ポスター印刷費	-	-	※ 0 円	※ 0 円
計					

※委託業務以外で市職員によって制作、印刷するため 0 円

令和8年度 北戸田駅周辺ウォーカブル社会実験 企画書（案）

効果検証（アンケート調査）

来場者向けアンケート	概要
調査名	来場者向けアンケート調査（Google forms、アンケート用紙、ポスターの掲示）
配布方法	2次元コードを掲載した紙の配布やポスターの掲示/アンケート用紙の手渡し
調査内容（案）	①本日のイベントを知ったきっかけは何ですか？ （選択式：市のHP/広報戸田市/ポスター/チラシ/町会の回覧/知人から聞いた/その他 等） ※広報の効果の把握 ②本日はこの広場にどのような目的で来られましたか？ （選択式：ステージ発表/ブース出展（ワークショップ等）/モーヴィ/キッチンカー/その他 等） ※来場動機の把握 ③広場全体に対する各イベントブースの『広さ』や『混雑具合』はどうでしたか？ （選択式：広々として快適 / ちょうど良い / 普通/狭くて動きにくい/その他 等） ※空間ポテンシャル（キャパシティ）の把握 ④広場でどのように過ごしましたか？ （選択式：ステージ鑑賞/ブース出展（ワークショップ等）への参加/モーヴィへの参加/キッチンカーで購入したものの飲食/その他 等） ※利用実態と滞在ニーズ把握 ⑤歩道沿いにキッチンカーやベンチがある風景はどうでしたか？ （選択式：とても良かった/良かった/どちらとも言えない/あまり良くなかった/良くなかった） ※ほこみちの受容性と課題の把握 ⑥今後、この広場でどんなことをやってほしいですか？ （選択式：ステージ発表 /ブース出展（ワークショップ等）/モーヴィ/キッチンカーの出店/マルシェ /その他 等） ※今後の最適な活用方法に向けた市民ニーズの把握 ⑦今後、この広場でどんなことをやってみたいですか？（自由記述） ※今後の最適な活用方法に向けた市民ニーズの把握 ⑧広場に対するご意見・ご要望があればご自由にお書きください。（自由記述） ※今後の本格運用に向けた課題・改善点・アイデアの抽出

令和8年度 北戸田駅周辺ウォークアブル社会実験 企画書（案）

効果検証（アンケート調査）

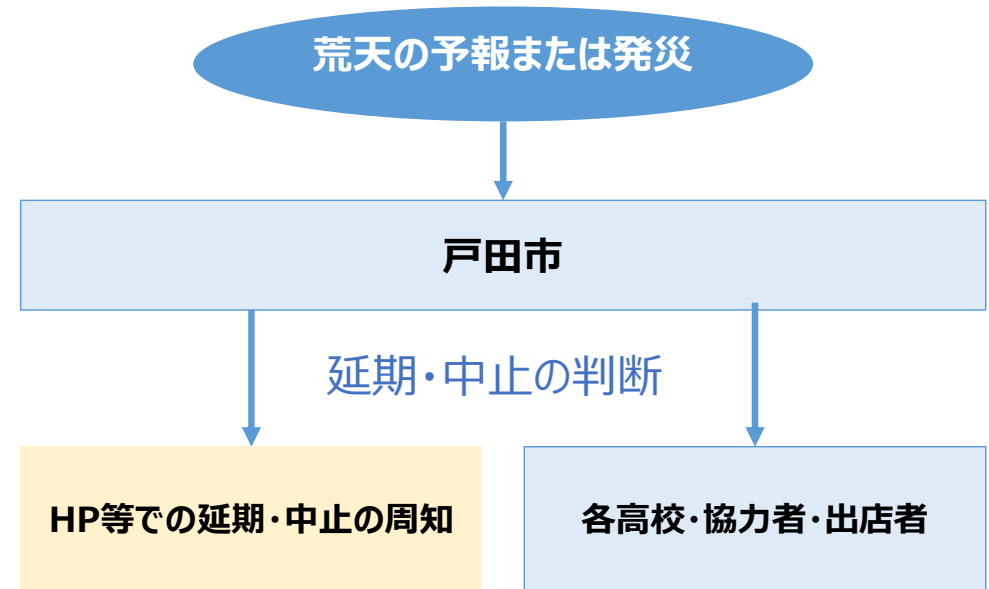
協力者（出展者）…ステージ発表者/ブース出展者/モーヴィ/キッチンカー出店者

協力者（出展者）向け アンケート	概要
調査名	出展者向けアンケート調査（Google forms）※予定
配布方法	2次元コードを掲載した紙の配布
調査内容（案）	①本日はどのような形でイベントに参加されましたか？ （選択：ステージ発表/ブース出展（ワークショップ等）/モーヴィ/キッチンカー） ※回答者の属性（利用用途）に応じた傾向の分析 ②割り当てられたスペースの「広さ」や「使い勝手」はいかがでしたか？（自由記述） ※出店・出演規模に応じた空間ポテンシャル（キャパシティ）の把握 ③またこの場所で活動（出店・出演）したいと思いますか？ （選択：とてもそう思う/そう思う/どちらでもない/あまりそう思わない/そう思わない） ※本格運用に向けた活動者側のニーズ（継続利用意向）の把握 ④③を選んだ理由を教えてください（自由記述） ※本格運用に向けた活動者側のニーズ（継続利用意向）の把握 ⑤設備やルールについて、改善してほしい点をご自由にお書きください。（自由記述） ※今後の最適な活用方法（運用ルールづくり）に向けた具体的な改善点の抽出

雨天時対応

■ 荒天の場合は予備日で実施の方針（小雨時決行）

- 交流広場のステージには屋根がないため、小雨時は別途テントを設置して実施する。
- 荒天時は中止とする。
- 荒天による延期・中止の判断は、前日の正午までに事務局で決定し、関係者（各高校、協力者、出店者等）に通知する。
- 中止の市民向けの連絡は、ホームページを通じて実施。



緊急時等オペレーション

■ 緊急時の判断・指揮系統

- 社会実験の開催期間中に発災等の平時ではない状況が生じた場合には、現地で社会実験の実施に協力している市職員が主導して避難等を実施します。
- 参加団体は市職員の誘導等に従い、参加者を避難場所等へ誘導しつつ、自身も速やかに避難等を行います。
- その他緊急発生時は、事務局に速やかに連絡してください。

都市再生整備計画(今後の取り組み)

R8.8月時点

R 7 年度～8 年度

北戸田駅西口駅前交流広場

①本体工事

R 7 年度～8 年度

北戸田駅西口駅前交通広場

①シェルター整備工事

R 7 年度

市道第7001号線及び
第7016号線

①社会実験：（市民等のニーズ把握）

②歩道設計

R 8 年度

市道第7016号線

①歩道整備工事

R 9 年度

市道第7001号線

①歩道整備工事

R 10 年度

2号公園（本体工事）

R 8 年度北戸田駅西口駅前
交流広場

①社会実験：ほこみち検証

R 9 年度笹目川プロムナード

①社会実験：付帯設備の検証

R 10 年度

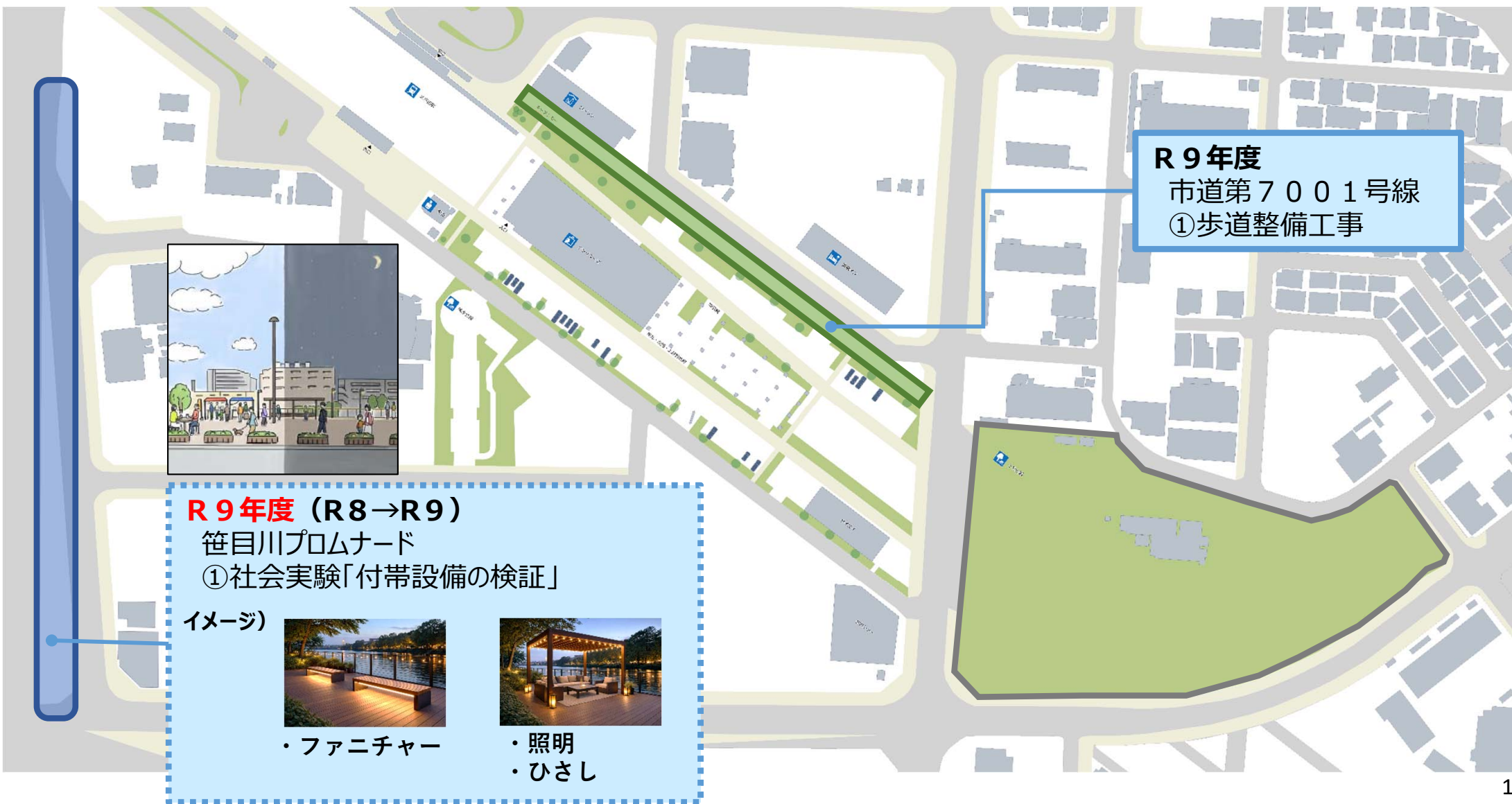
笹目川プロムナード

①付帯設備工事

※実線枠：工事 破線枠：設計・社会実験など

【概要】

- ・笹目川プロムナードでの社会実験を実施(社会実験の結果を、翌年度の整備に反映する)
- ・市道第7001号線歩道整備工事



【概要】

- ・笹目川プロムナード社会実験の結果に伴う付帯整備工事
- ・2号公園本整備工事



R10年度 (R9→R10)
笹目川プロムナード
①付帯設備工事



R10年度 (R9→R10)
2号公園
①本整備工事